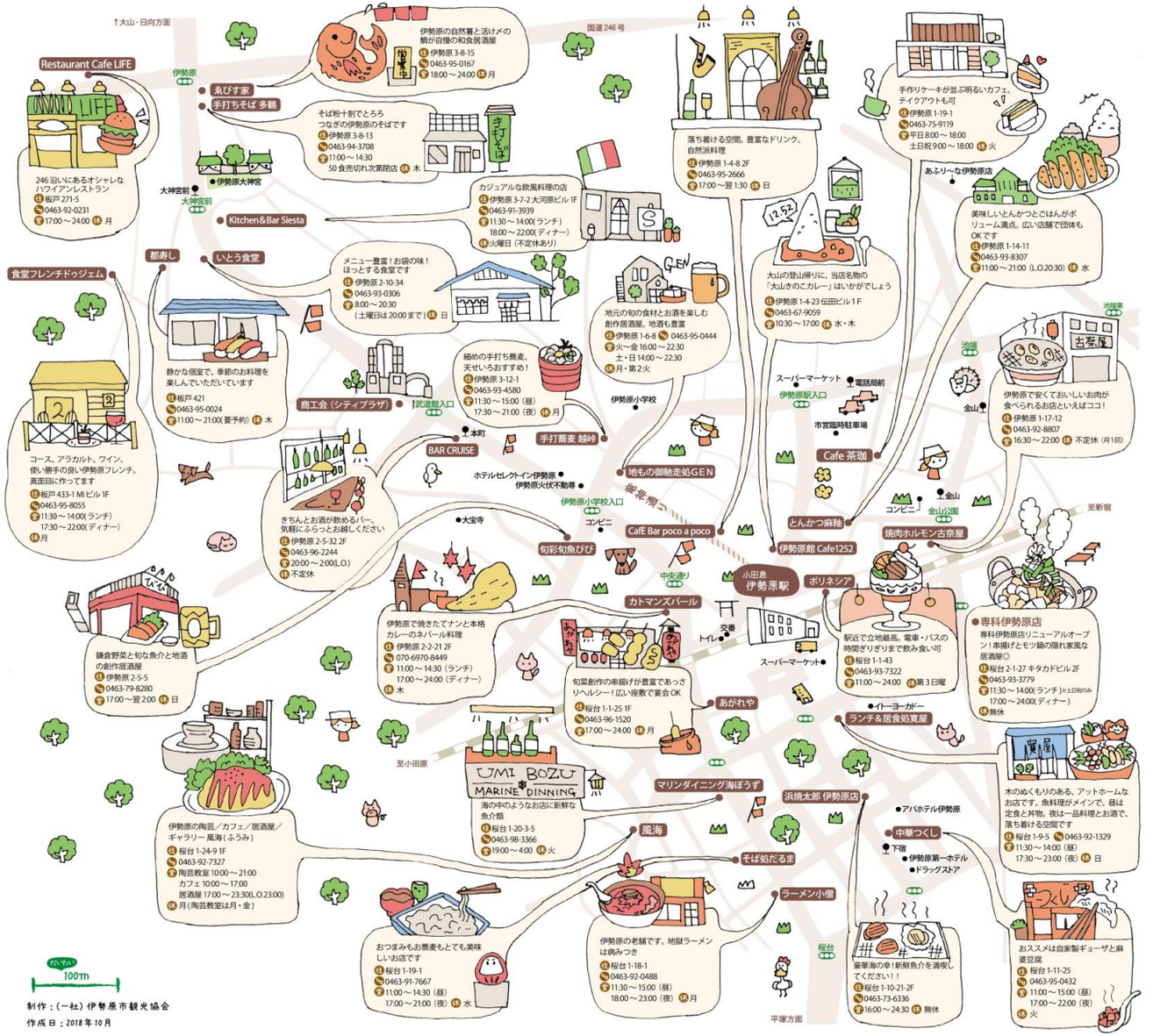

いせはらの地図

ISEHARA NO MAP

お食事どころ編

～伊勢原の由来～

元和５年（1619）、伊勢の国の人・山田曾右衛門と鎌倉の人・湯浅清左衛門は、大山参詣の途中、千手ケ原という松原に一夜の宿を求めたところ、水音を聞いて開墾可能であることを悟り、当時このあたりを支配していた中原代官成瀬五左衛門の許可を得て、開墾に着手いたしました。そこにだんだんと粕屋あたりより人が集まり現在の伊勢原市街の基礎が形成されました。

曾右衛門はこの新しい開拓地の鎮守として、故郷である伊勢の神宮の神様を勧請し、奉祭したことから、当地は「伊勢原」と呼ばれるようになりました。

発行元：第２次商業のまちづくり協議会 プロモーション部会